



# 常磐ものの 風評被害について

DEレポート No. 52

2025年3月  
作成者:Y.H

 脱炭素経営ドットコム  
By DENKOSHA

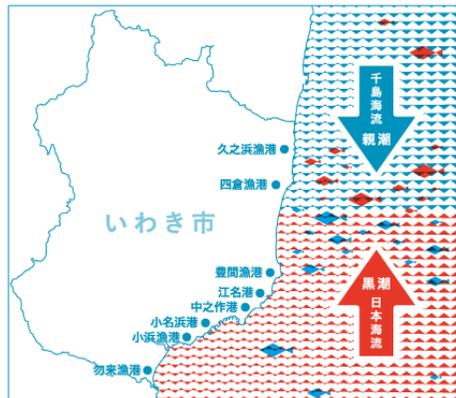


# 厳しい状況が続く常磐もの(漁業)の現状

## ■ 築地市場で水産関係者の方々が、99%が「常磐ものは美味しい」と答えたのになぜ？

- 東日本大震災・福島第一原子力発電所の事故により、私が勤務するいわき市を含む福島県海沿いの漁業は水揚げの減少及び出荷量の減少が続き、大変厳しい状況が続いている
- 原発事故による放射性物質を含む水を海洋放出するにあたり、トリチウム以外の放射性物質を、安全基準を満たすまで浄化し、基準を十分に満たすよう処分する前に海水で大幅に薄めて放出している
- 海洋放出するにあたり安全基準を満たすまで浄化し放出しているが、風評被害により東日本大震災以前の漁獲量の水準まで回復していない。また、沖合漁業で水揚げされるカツオやサンマ、サバなどの回遊性魚種は、福島県の沿岸海域で漁獲されたものではないが、水揚げされた港が「福島県」「いわき市」であるだけで、今でも市場関係者や消費者から敬遠されている面がみられる

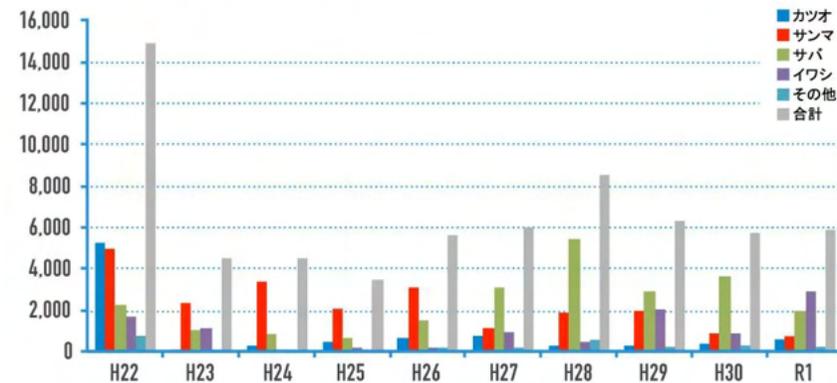
## ■ 寒流と暖流が交わる豊かな漁場



暖流だけでもない。寒流だけでもない。  
両方がぶつかる“室の海”が  
常磐ものを育む。

出典:いわき市農林水産部 水産振興課

## ■ 沖合漁業における水揚げ量の推移



震災後、特にカツオの水揚げ量が激減

令和元年は全体で5,912トン  
震災前の約4%

出典:いわき市農林水産部 水産振興課

東日本大震災前は好まれて食されていたのに…

# 常磐ものは本当に安全なのか？

■ モニタリング調査にて基準値の100Bq/kgを超過する検体はなし。平成31年1月から令和元年12月までの不検出の割合は99.8%！

- 魚介類の放射性物質濃度についてモニタリング検査を実施し、放射性物質の濃度が低い種類、あるいは事故直後は高かったものでも時間の経過とともに明らかに低下している
- 福島県の沿岸海域で漁獲されたものではない回遊性の魚に対しても、放射性物質スクリーニング検査を行い、安全性を確認してから出荷している
- 福島県内では、地産地消をアピールし飲食店や公共施設の食堂などで積極的に常磐ものが提供されているが、日本全国及び全世界に対しての安心・安全が伝わっていないように感じる

## ■ 最新のモニタリング調査結果

迅速分析結果												
(世界保健機関(WHO)の飲料水水質ガイドライン基準:10,000Bq/L 15番以降がALPS処理水放出後の結果)												
No.	試料名	生産水域	採取地	漁具設置		漁具回収		報告日	分析部位	(単位: Bq/kg) (検出限界値)		分析機関
				日	時	日	時					
314	ヒラメ	福島県沖	T-S8	R6.10.24	5:00頃	R6.10.25	4:00頃	R6.10.29	筋肉	検出限界値未満	(7.64)	(公財)海洋生物環境研究所
315	ヒラメ	福島県沖	T-S3	R6.10.28	4:30頃	R6.10.29	4:00頃	R6.10.30	筋肉	検出限界値未満	(8.53)	(公財)海洋生物環境研究所
316	ヒラメ	福島県沖	T-S8	R6.10.28	4:30頃	R6.10.29	4:00頃	R6.10.30	筋肉	検出限界値未満	(8.49)	(公財)海洋生物環境研究所
317	ヒラメ	福島県沖	T-S3	R6.10.29	5:00頃	R6.10.30	4:00頃	R6.10.31	筋肉	検出限界値未満	(8.87)	(公財)海洋生物環境研究所
318	ヒラメ	福島県沖	T-S8	R6.10.29	4:30頃	R6.10.30	4:00頃	R6.10.31	筋肉	検出限界値未満	(9.07)	(公財)海洋生物環境研究所
319	ヒラメ	福島県沖	T-S3	R6.10.30	4:30頃	R6.10.31	4:00頃	R6.11.1	筋肉	検出限界値未満	(8.65)	(公財)海洋生物環境研究所
320	ヒラメ	福島県沖	T-S8	R6.10.30	4:30頃	R6.10.31	4:00頃	R6.11.1	筋肉	検出限界値未満	(8.44)	(公財)海洋生物環境研究所
321	ヒラメ	福島県沖	T-S3	R6.10.31	5:00頃	R6.11.1	5:20頃	R6.11.5	筋肉	検出限界値未満	(7.82)	(公財)海洋生物環境研究所

出典:水産庁

令和2年2月27日現在、国の出荷制限指示を受けている魚種はない現実

# 国内外で美味しい常磐ものの消費拡大のために

## ■ 四季を通じて多くの水産物が水揚げされている

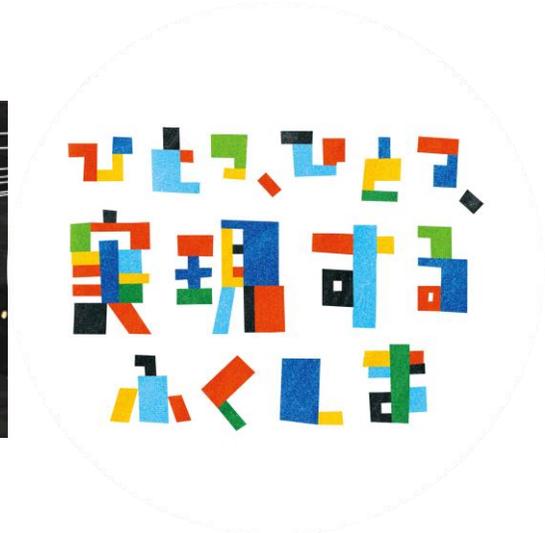
- 美味しい常磐ものの風評被害(誤解)を払拭し、震災以前の漁獲量の確保及び出荷をし、福島浜通りの漁業関係者に活気ついてほしい
- もっと国内外の方へ常磐ものは安心・安全だと認識して頂き、地産地消だけではなく、幅広い方々においしくて新鮮、そして安全な常磐ものの水産物を楽しんでほしい
- 「常磐もの」をキーワードに、多くの方に安全・安心だと知って頂きたい

## ■ 常磐ものの代表的な魚「ヒラメ」



出典:いわき市農林水産部 水産振興課

## ■ 福島県スローガン



出典:福島県

**常磐ものを見かけたら、是非多くの方に食して頂きたい！**

## ■ 参照・引用資料

- いわき市農林水産部 水産振興課, 「常磐もの」, 2024年11月8日(<https://joban-mono.jp/>)
- 水産庁, 「水産物の放射性物質調査の結果について」, 2024年11月8日(<https://www.jfa.maff.go.jp/j/housyanou/kekka.html#jinsoku>)
- 福島県, 「福島県スローガン」, 2024年11月8日(<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01010d/jitsugensuru-fukushima.html>)



<https://de-denkosha.co.jp/datsutanso/>

脱炭素経営とは、再生可能エネルギーを創る「創エネ」、使う電気を減らす「省エネ」、創った電気を貯める「蓄エネ」をうまく活用し、会社・事業で排出する温室効果ガス「0」を目標にする経営のこと。

中小企業の私たちにも、できる取り組みが沢山あることを伝えたい。このような想いで、90年以上「電気」に向き合ってきた電巧社ならではのアイデアが詰まった創エネ、省エネ、蓄エネのソリューションをお伝えできる情報を、当サイトで発信しております。

DELレポートに関するお問い合わせ先はこちらへ

電気のコンシェルジュ

**DENKOSHA**

株式会社 電巧社

〒105-0014 東京都港区芝2-10-4

TEL: 03-3453-2221(本社代表)

担当: DELレポート事務局

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社電巧社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。